



## 住民意向調査速報版（川俣町、南相馬市、川内村、葛尾村） の公表について

川俣町、南相馬市、川内村、葛尾村の住民を対象とした住民意向調査結果を取りまとめました。

### 1. 調査概要

#### 川俣町

調査主体	復興庁、福島県、川俣町
調査対象	山木屋地区の世帯の代表者（550世帯）
実施期間	平成28年11月14日～11月28日
回答者数	280世帯（回収率50.9%）

#### 南相馬市

調査主体	復興庁、福島県、南相馬市
調査対象	避難指示が解除された地域に住民登録をしていた世帯の代表者（3,746世帯）
実施期間	平成28年11月21日～12月5日
回答者数	2,407世帯（回収率64.3%）

#### 川内村

調査主体	復興庁、福島県、川内村
調査対象	全世帯主（1,188世帯）
実施期間	平成28年11月14日～11月28日
回答者数	613世帯（回収率51.6%）

#### 葛尾村

調査主体	復興庁、福島県、葛尾村
調査対象	避難指示が解除された地域に住民登録をしていた世帯の代表者（617世帯）
実施期間	平成28年11月21日～12月5日
回答者数	343世帯（回収率55.6%）

### 2. 調査結果のポイント

別紙1～4のとおり

本件連絡先  
（原子力災害復興班）高田、花岡、徳竹  
電話：03-6328-0250（直通）

## 川俣町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。（記名式）
- ・ 復興庁、福島県、川俣町の共同調査は4回目。

### (1) 避難指示解除後の帰還の意向

戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)	43.9%(44.2%)
まだ判断がつかない	13.6%(16.4%)
戻らないと決めている	31.1%(24.9%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H27.10)結果

### (2) 帰還時期

解除後すぐに戻りたい(1年以内)	73.2%(58.9%)
解除後3年以内に戻りたい	8.1%(20.5%)
解除後5年以内に戻りたい	0.8%(2.6%)
解除後10年以内に戻りたい	2.4%(－%)
時期は決めていないがいずれ戻りたい	13.8%(15.9%)

※避難指示解除後の帰還の意向で「戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方のみ回答

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H27.10)結果

### (3) 帰還を判断する上で必要な情報（上位抜粋）

どの程度の住民が戻るかの状況	63.2%
仮置場撤去の見通しに関する情報	52.6%
放射線量の低下の目途、除染成果の状況	44.7%
放射線の人体への影響に関する情報	42.1%
道路、学校、病院などの社会基盤(インフラ)の復旧時期の目途	36.8%

※避難指示解除後の帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

### (4) 戻らないと決めている理由（上位抜粋）

避難先の方が生活利便性が高いから	60.9%
医療環境に不安があるから	48.3%
生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから	37.9%
山木屋地区外への移動が不便だから	36.8%
高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから	33.3%

※避難指示解除後の帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答

## 南相馬市調査結果のポイント

- ・市民の現状や今後の帰還時期、帰還の判断に必要な条件、市外居住の状況等を把握し、今後の施策検討のための基礎的情報収集等を目的に実施。(記名式)
- ・復興庁、福島県、南相馬市の共同調査は2回目。

## (1) 避難指示解除後の帰還意向 (将来の定住意向)

		H28		H25	前回比
震災当時の住居に住んでいる		13.5%	50.8%	29.3%	+21.5%
戻ることを決めている	当時の住居に住みたい	24.4%			
	当時の住居以外(同じ地区)に住みたい(住んでいる)	12.9%			
まだ判断がつかない		13.9%		44.0%	▲30.1%
戻らないと決めている	当時の住居以外(南相馬市内の別地区)に住みたい(住んでいる)	10.2%	25.9%	26.1%	▲0.2%
	南相馬市以外に住みたい(住んでいる)	15.7%			

## (2) 現時点で将来の定住先について判断できない理由 (上位抜粋)

医療環境に不安があるから	61.1%
原子力発電所の安全性に不安があるから	53.0%
生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから	51.8%
介護・福祉サービスに不安があるから	40.1%
放射線量の低下、除染の効果に不安があるから	39.8%

※避難指示解除後の帰還の意向で「現時点では、まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

## (3) 南相馬市以外に住みたい(住んでいる)理由 (上位抜粋)

原子力発電所の安全性に不安があるから	54.8%
医療環境に不安があるから	53.2%
既に恒久住宅を取得したから	52.9%
生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから	47.4%
避難先の方が利便性が高いから	46.0%

※避難指示解除後の帰還の意向で「南相馬市以外の場所に住みたい(住んでいる)」と回答した方のみ回答

## 川内村調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。(記名式)
- ・ 復興庁、福島県、川内村の共同調査は3回目。

### (1) 避難指示解除後の帰還意向

	避難指示が解除された区域	【参考】全体
震災発生当時の住居に住んでいる	40.9% (34.9%)	55.0% (45.6%)
川内村内に住みたいと考えている(既に住んでいる)	22.8% (20.2%)	20.2% (19.4%)
現時点ではまだ判断がつかない	11.0% (11.6%)	9.5% (15.0%)
川内村以外の場所に住みたいと考えている	12.6% (14.7%)	7.7% (9.6%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H27.12)結果

### (2) 帰還を判断する上で必要な情報(上位抜粋)

	避難指示が解除された区域	【参考】全体
道路・鉄道・学校・病院などの社会基盤(インフラ)の復旧時期の目途	57.1%	48.3%
医療・社会福祉環境の充実	50.0%	41.4%
どの程度の住民が戻るかの状況	28.6%	24.1%
放射線量の低下の目途、除染成果の状況	28.6%	17.2%
働く場の確保の目途	21.4%	24.1%

※避難指示解除後の帰還の意向で「現時点ではまだ判断つかない」と回答した方のみ回答

### (3) 川内村以外に住みたい理由(上位抜粋)

	避難指示が解除された区域	【参考】全体
医療環境に不安があるから	43.8%	40.4%
生活に必要な商業施設などが元に戻らないから	37.5%	34.0%
避難先の方が生活利便性が高いから	31.3%	34.0%
今の環境で子どもの教育を継続させたいから	31.3%	29.8%
高齢者・要介護者だけの世帯なので生活が不安だから	31.3%	21.3%

※避難指示解除後の帰還の意向で「川内村以外の場所に住みたいと考えている」と回答した方のみ回答

## 葛尾村調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、葛尾村の共同調査は3回目。

## (1) 避難指示解除後の帰還の意向

現在、葛尾村に戻っている	9.9%(－)
戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)	33.5%(25.6%)
現時点でまだ判断がつかない	21.0%(45.0%)
戻らないと決めている	28.3%(23.9%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H25.8～9)結果

## (2) 帰還を判断する上で必要な情報(上位抜粋)

道路、病院などの社会基盤(インフラ)の復旧時期の 目途	54.2%
放射線量の低下の目途、除染成果の状況	41.7%
どの程度の住民が戻るかの状況	38.9%
働く場の確保の目途	36.1%
放射線の人体への影響に関する情報	22.2%

※避難指示解除後の帰還の意向で「現時点でまだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

## (3) 戻らないと決めている理由(上位抜粋)

医療環境に不安があるから	41.2%
避難先の方が生活利便性が高いから	40.2%
高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから	34.0%
原子力発電所の安全性に不安があるから	28.9%
葛尾村外への移動交通が不便だから	27.8%

※避難指示解除後の帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答